



平成29年2月13日

各位

上場会社名 ダイコク電機株式会社
 代表者 代表取締役社長 栢森 秀行
 (コード番号 6430)
 問合せ先責任者 取締役管理統括部長 栢森 啓
 (TEL 052-581-7111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	1,000	1,000	600	40.59
今回修正予想(B)	41,000	300	500	200	13.53
増減額(B-A)	△9,000	△700	△500	△400	
増減率(%)	△18.0	△70.0	△50.0	△66.7	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	47,004	△894	△749	△1,676	—

修正の理由

当連結会計年度におきまして、情報システム事業では、平成28年12月末を期限とした「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去の影響により、パチンコホールの新店・改装が大幅に減少したことで、製品販売が年初計画を下回る見込みとなり、同事業のセグメント売上高は28,500百万円(対前回予想比8.1%減)の見込みとなりました。

制御システム事業では、パチンコ遊技機メーカーの販売計画の見直しにより、年初計画に対してパチンコ表示ユニット5機種が来期以降にずれ込む見込みとなったこと、パチスロ遊技機において1機種の販売を来期に変更したことで、同事業のセグメント売上高は12,500百万円(対前回予想比34.2%減)の見込みとなりました。

パチンコ表示ユニットの内訳としましては、上期に予定していた1機種は下期の販売となり、上期に予定していた1機種と下期に販売を予定していた4機種の計5機種は来期以降にずれ込む見込みとなりました。

利益面におきましては、利益率の高い製品及びサービスが比較的好調に推移していることで、売上総利益率の改善を見込んでいます。また、全社の取り組みとして経費削減に努め、販売費及び一般管理費は減少する見込みです。

以上の要因により売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益において、予想数値を下回る見込みとなりました。

(業績予想に関する注意事項)

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上